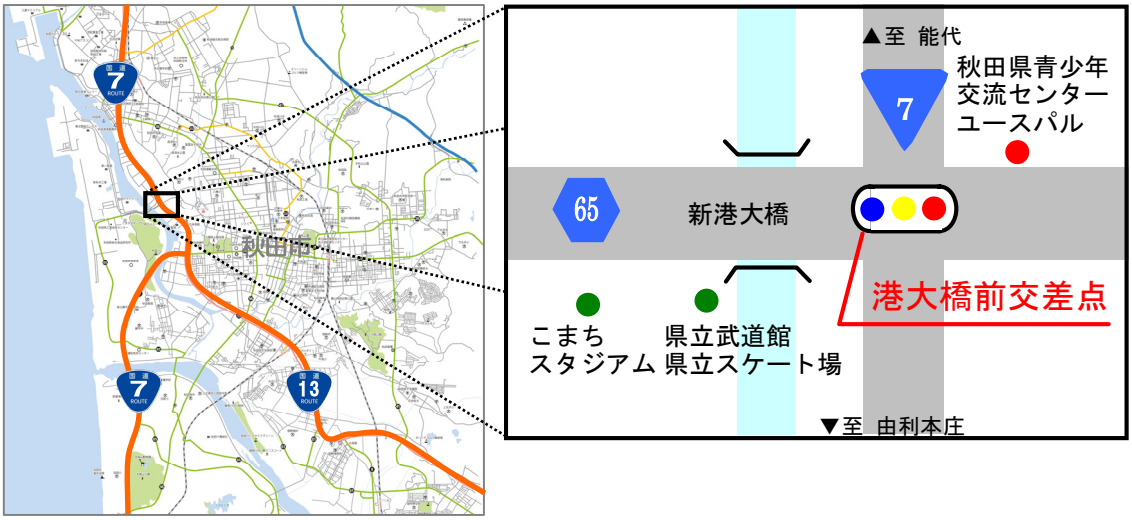
記者発表資料

平成24年2月7日
国土交通省東北地方整備局
秋田河川国道事務所

国道７号港大橋前交差点の交通事故対策の効果

交差点内の走行安全性が向上し、右折直進・追突事故が減少!!

平成22年3月に実施した一般国道７号港大橋前交差点における交通事故対策の整備効果についてお知らせいたします。



	整備前		整備後
○ 全体の事故件数が約６割減少	4.1件/年	→	1.7件/年
○ 特に夜間事故が約７割減少	1.9件/年	→	0.6件/年
○ 右折直進事故が半減	1.2件/年	→	0.6件/年
○ 追突事故が７割以上減少	2.4件/年	→	0.6件/年

※詳細については別添資料を参照してください。

発表記者会：秋田県政記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
TEL　０１８（８６４）２２９２
道路管理第二課長　：　岡部（おかべ）　武彦（たけひこ）　（内線４４１）

一般国道7号　港大橋前交差点

県警と連携した事故対策の実施

（平成22年3月供用）

①交差点内の走行安全性が向上
②右折直進・追突の事故が減少





●右折信号と連動した埋め込み型の「自発光式右折誘導灯」をはじめとした交通事故対策の実施により当該交差点の安全性が向上しました。

●対策の狙いであった右折直進事故や追突事故が着実に減少しています。

	整備前	整備後
○全体の事故件数が約６割減少	4.1件/年	1.7件/年
○特に夜間事故が約７割減少	1.9件/年	0.6件/年
○右折直進事故が半減	1.2件/年	0.6件/年
○追突事故が７割以上減少	2.4件/年	0.6件/年

※整備前：H18.1～H22.2、整備後：H22.4～H23.12の年平均件数

整備後



整備前



・工事期間：H22年3月

・整備内容：交通事故対策
- 自発光式右折誘導灯
- 右折導流標示・停止線改良
- カラー舗装
- 減速路面標示（ドットライン）

・工事費：約60百万円

右折信号と連動した埋め込み型の『自発光式右折誘導灯』を設置しました！
～【秋田県警察と連携した事故対策の実施】～

背景 ～以前の港大橋前交差点の状況は～

- 平成18年～21年の4年間で17件もの死傷事故が発生しており、その半数近くが夜間に発生していました。
- 特に右折車と対向直進車の衝突事故や、追突事故が多く発生していました。

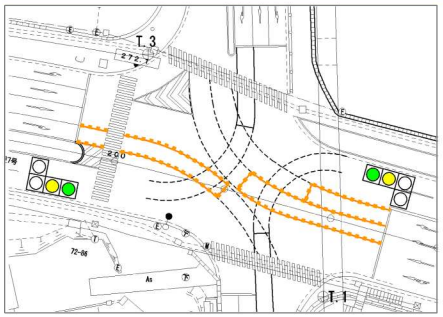
この状況を踏まえ、次の２つの目的を達成するための対策を検討しました。
① 右折車の走行・停止位置の安定化を図ることによって**右折直進事故を削減**
② ドライバーの方々への注意喚起によって**追突事故を削減**

実施対策 ～実施した主な交通事故対策の内容は～

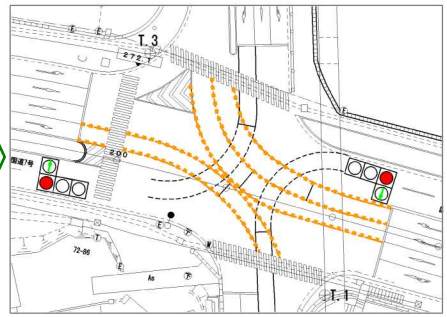
■ 右折直進事故対策（夜間） ⇒ 埋め込み型の『自発光式右折誘導灯』

- 夜間や冬期の積雪が数ｃｍ程度の状況でも、発光により視認できる埋め込み型の「誘導灯」を設置し、右折時の誘導ラインと停止線を明確にします。

青信号時に、路面に埋め込まれた誘導灯が点灯します。（※赤信号側は消灯）



右折の矢印信号時には誘導灯が点滅することにより、右折車を誘導します。



■ 追突事故対策（昼間） ⇒ 『カラー舗装』『ドットライン』

- 右折車線の「カラー舗装」化によって走行区分を明確にするとともに、通行車両へ注意を喚起します。
- 直進車線に「ドットライン」を設置し、視覚的に幅員を狭く見せることにより速度を抑制します。

整備前



整備後



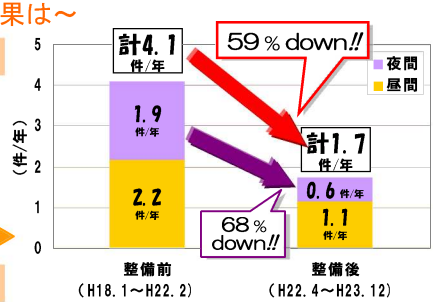
整備効果 ～交通事故対策実施による効果は～

■ 交通事故の危険性が低下!!

① 全体の事故が**約６割減少!!**

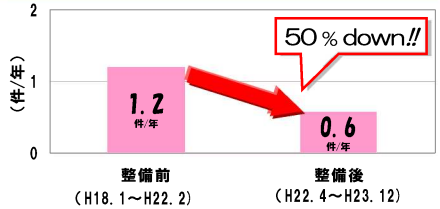
② **夜間事故は約７割減少!!**

整備前後の全死傷事故件数の変化 ▶



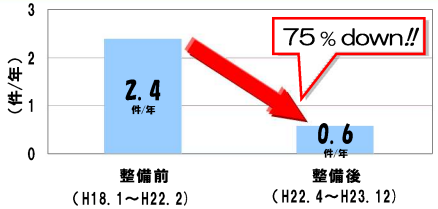
■ 右折直進・追突事故が着実に減少!!

③ 右折誘導灯等の整備により**右折直進事故が半減!!**



▲整備前後の右折直進事故件数の変化

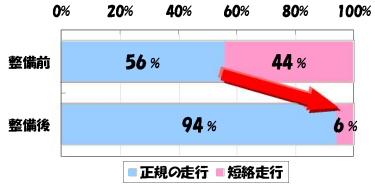
④ カラー舗装等の整備により**追突事故が７割以上減少!!**



▲整備前後の追突事故件数の変化

■ 事故につながるような危険な右折車も減少!!

⑤ 右折誘導灯の整備により**右折車の走行位置が安定!!**



▲内側の右折走行位置（写真中の赤線）

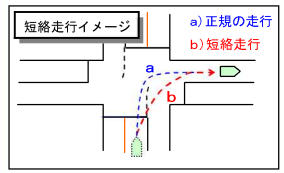




今後の取り組み ～秋田県内事故ゼロに向けて～

- 今後も継続的に効果評価（事故発生状況の確認）を行い、更なる事故削減に向けた改善に努めていきます。
- 他の事故多発箇所（同様の事故パターンが発生している交差点）へも同様の対策を展開していきます。

【参考：短絡走行とは】



右折誘導ラインを内側に逸脱した走行